

雄飛の滝線歩道

行程：2.3 km

所要時間：55分（片道）注：雷霆の滝への周回ルートを加えるとさらに40分

駐車場：起点近くの雄飛の滝駐車場（バスの運行なし）

コース概要：

雄飛の滝コースは、雄飛の滝駐車場から咆哮霹靂の滝まで続き、オプションコースが雷霆の滝まで延びている。このコースの一部は起伏が激しく、ハイキングシューズの着用が強く推奨される。このコースの注目すべき特徴は、岩層、豊かな滝、水の青い色彩である。これらはすべて、この地域で火山活動があった証しである。

見どころ：

スツカン沢

スツカン沢を通るコースに沿って流れる川は、青白い色をしている。川は高地のカルデラ湖から流れており、水には、火山による鉱物、炭酸、その他の化学物質がよく含まれている。「スツカン」という名前は水の酸味に関係しており、文字通り「酸っぱい」を意味する。

素廉の滝

素廉の滝は、川の対岸にあり、コース道から近いところにある。数メートルの幅の岩のひびをつたって水が緩やかに流れ落ちる。このようにして生じる水の流れは、岩に掛けられた簾のように見える。

仁三郎の滝

この滝は、滝を最初に発見した人にちなんで名付けられたが、流れ落ちる水のゆらめきが、踊りを舞う少女のスカートに似ているとされることから、「舞姫滝」という愛称でも呼ばれてきた。

雄飛の滝

この滝は、背の高い岩に囲まれており、滝水は大きな力で洞穴のような滝つぼに流れ

込む。上の展望台から滝を眺めることができ、晴れた日には、下の深い滝つぼの青い水に光が降り注ぐ。

薙刀岩

湾曲した薙刀のように見えるこの岩層は、溶岩が冷えて収縮するときにかかる柱状節理の一種である。

雷霆の滝

10メートルの落差をほとぼしる滝水が生み出す音にちなんで、「雷の滝」という名前が付けられている。